

1 なり

基本形	なり
活用の型	ラ変型
未然形	○
連用形	なり
終止形	なり
連体形	なる
已然形	なれ
命令形	○

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **打っているようだ**

<古文> 手をおびたはたはたと打つなる
 <現代文> 手を何度も騒がしくばちばちと打っているようだ

【主な意味と用法】

- ・ 推定
「～ようだ」
- ・ 伝聞
「～するとかいう」

曹司の方に去ぬなり
 (部屋の方に行ってしまうようだ)

駿河の国にあるなる山なむ
 (駿河の国にあるという山を)

2 らし

基本形	らし
活用の型	無変化型
未然形	○
連用形	○
終止形	らし
連体形	らし
已然形	らし
命令形	○

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **来たらしい**

<古文> 春こそ空に來にけらし
 <現代文> 春が空に來たらしい

【主な意味と用法】

- ・ 推定
「～らしい」

み吉野の山の白雪つもるらし
 (吉野の山の白い雪は積もっているらしい)



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

古文・漢文

次の白文の、カッコ内の読み方は？ 百聞「不如」一見
 (A) なさず (B) しかず (C) べからず (D) あらず